

## APS 視察レポート 13

日程：2011年9月12日（月）

8：30 APS（シドアルジョ）にて今年度の事業同意書に調印

14：10 APS 養殖池（パスルアン）にて現場視察

### APS の事業同意書調印

APS との今年度の事業同意書に調印を行い、事業資金の受け渡しを行った。



エンダン氏より、共同事業3年目継続とこの期間に構築した信頼関係に対してお礼の言葉があった。APSでのマングローブの成長も大変よく順調に成果を出している事に対して嬉しい事と、今後の地域住民への普及にも力を入れて行きたいと話していた。また、住民が参加し自分たちの手でマングローブを植え、その成果が見えれば、住民自身がマングローブの生活の中での重要性を認識してくれることが一番であると話していた。法律や罰則・警察の拘束力よりも、自発的な気持ちが養ってくれば本当の持続可能な森林との共生が出来ると考えているとおっしゃっていた。

また、この事業を普及するためには認知度の向上が必要だが、東ジャワ州のパチタン県（Kab.Pacitan Provinsi Jawa Timur）での事業展開が良いのではないかとエンダン氏よりの提案だ。パチタン県は現インドネシア大統領であるスシロ・バンバン・ユドヨノ氏（Susilo Bambang Yudhoyono）の出身であるため、そこで事業を行うことで、大統領の耳に入る可能性が高く、認知度や普及に大きく役に立つのではないかということであった。

本日、始めて各地より集まった新入生がそのまま海軍で3ヵ月間の研修を受けるため、男女問わず入隊する。そのための壮行会が行われていた。この様なプログラムがあるおかげでAPSのあの素晴らしい卒業式があるのだと納得が出来た。

## APS 現場視察

新しい現場の区画分け地図が出来ていた。



- 左より
- 青色；シルボフィッシャリーエリア
  - 緑色；海藻養殖エリア
  - 赤色；その他（釣り堀池エリア）
  - 肌色；ミルキーフィッシュ（Ikan Bandeng）エリア
  - 水色；エビの近代養殖池エリア

APS では、シルボフィッシャリーの他にも近代的なエビ池養殖池等にも取り組んでいる。APS はあくまで学生のための教育機関・実習地としての役割があり、色々な方法を体験し比較検討することが目的とされているためである。

## 8番と9番の養殖池の間



2011年2月撮影



2011年9月撮影

この半年でかなり枝葉が増え、順調に育っていることが伺える。2枚の写真を比べてもさほど活着率に変化はないようだ。



2010年9月以降に植林されたにもかかわらず、既に支柱根が確認できる。

16 番と 23 番の間の水路



植林後 3 年半から 4 年経過した個体であるが、大きいものは既に 3m 以上の高さにまで成長している。

24 番の養殖池



2011年2月撮影



2011年9月撮影（植林後約2年）

この半年で枝葉がかなり増え、樹高も伸びている。樹冠が大きくなり、隣接する個体との間が狭くなっている。



24 番の養殖池西側の荒地



2008 年 12 月撮影



2009 年 12 月撮影



2010 年 10 月撮影



2011 年 2 月撮影



2011 年 9 月撮影



2011 年 9 月撮影

2007 年末に植林されたオオバヒルギとヒルギダマシが約 4 年でこの根元が見えないくらいに枝葉が茂っている。次項写真にある様、それぞれの樹高はオオバヒルギが 4m 以上、ヒルギダマシが 6m 以上にまで成長している。他の池で植林された個体もこの程度の成長速度が予測できるであろう。



### 17 番の養殖池

2009 年末に植林されたヒルギダマシは 1 年 10 か月が経過したが、24 番の池西側同様、驚くほどの成長ぶりを見せている。個体は既に 2m を超えているようである。バンバンさんの話ではこの池では既に根元の枝打ちを実行し、汚物の滞留の防止および成長促進をサポートしている。



### 10 番の養殖池

植林後一年が経過し、他の池同様の成長ぶりを見せている。



### 11 番の養殖池

植林後 2 年が経過し、他の池同様の成長ぶりを見せている。





## 2 番の養殖池

植林後一年が経過し、他の池同様の成長ぶりを見せている。池の中に成長過程の違うオオバヒルギ、ヒルギダマシがあるが、過去に試験的に植林したもの。



## 1 番の養殖池

植林後 2 年が経過し、他の池同様の成長ぶりを見せている。この時期に植林された個体の中で一番大きく成長している。



### 1番と2番の養殖池南側の荒地

植林後2年が経過し、他の池同様の成長ぶりを見せている。荒地のため水が入っていなかったため根元まで確認。個体の樹高は1.5mに達していた。



以上

阿久根